

兵庫 県
保険 医協
会

西宮 支部
芦屋 ニュース

No. 310
2013・2・5

発行 兵庫 県 協 会
兵庫 県 保 險 医 協 会
西宮 市 石 叡 町 十 八 一 八
大 森 内 科 医 院 内
〒 662 - 0074
連 絡 先 兵 庫 県 保 險 医 協 会
電 話 〇 七 八 (三 九 三) 一 八 〇 一

第29回漢方研究会

漢方は生薬の薬能を考えた処方

2012年12月15日、西宮神社会館で「急性期症状における漢方の可能性〜いかに西洋薬と組み合わせるかを〜」をテーマに第29回漢方研究会を開催。田中健二郎先生(東灘区・田中内科循環器内科クリニック)が講師を務め、医師や薬剤師など52人が参加した。広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)とともに司会を務めた長光由紀先生(伊丹市・ウイング調剤薬局)と、参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

西宮・芦屋支部「第29回漢方研究会」が開催された時点(12月15日)では阪神間でまだインフルエンザの流行はなく、感染性胃腸炎が流行中でした。神戸市東灘区でご開業の田中健二郎先生のご講演はまさしくこの感染性胃腸炎への対応、西洋薬と合わせた漢方薬の使い方をテーマとされ、52人の参加者にとってタイムリーな内容となりました。患者さんの所見により使われる漢方薬も違いますが、繁用される例として「五苓散」「六君子湯」「人参湯」を挙げられました。

また過敏性腸症候群で「イリボー」と漢方薬を合わせた患者さんへの処方を二例示され、症状が落ち着いてくると漢方薬のみ服用とされていることを教えてくださいました。

呼吸器感染症のかぜ症候群では「麻黄湯」を使われることが多く、鼻症状やのど症状に合わせて「小青竜湯」「麦門冬湯」なども処方されるそうです。これからの季節に備え、昨シーズン同様インフルエンザ感染の患者さんには「麻黄湯」とタミフルの組み合わせを予定されているというものでした。

今回、先生から学び一番大切と思ったことは、「生薬を組み合わせた漢方薬は各生薬の薬能をきちんと理解して使う」というメッセージです。水分代謝を改善したい場合、「茯苓」「猪苓」「沢瀉」「朮」が有効で、高齢者には「猪苓湯」若年者には「五苓散」を使うことが多いそうです。生薬一つ一つの薬能を考えながら漢方処方を組み合わせることで、より患者さんの状態に合うこととなります。薬剤師の場合、服薬指導で漢方薬の持つ病名しかわかっていないと、患者さんが自分の症状と違う指導を受けて、不安になられることもあるということです。今後も生薬の薬能、そして二味、三味と組み合わせた薬能について学んでいきたいと思えました。

講師の田中内科循環器科内科クリニック 田中健二郎先生、共催いただいた株式会社ツムラのみなさま、ありがとうございました。

【伊丹市・ウイング調剤薬局 長光 由紀】



生薬の薬能について解説する田中先生



医師・薬剤師が多数参加し、田中先生の講演に熱心に聞き入った

私は漢方薬を、老人の慢性疾患などに使っていましたが、田中先生のお話では感冒の場合、「タミフル2カプセル、麻黄湯3包5日分」と、まるでPL顆粒の感覚です。

下痢性胃腸炎では、五苓散に含まれる茯苓の利尿作用を利用して、五苓散3包と整腸剤を投与し、必要なら抗生剤を追加するといった具合。

漢方が入っている生薬の成分をみて処方すると上手に使えるとのこと、今後勉強して急性期の患者さんにも使ってみようと思えました。

【西宮市・大森内科医院 大森 公一】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は12月28日と1月25日に西宮医療会館で世話人会を開催。それぞれ3人、5人が参加した。

【報告】

- ① 第24回ガイドライン研究会(11・30)
- ② 健康と医療について語り合う会(12・6)
- ③ 第19回医療過誤訴訟セミナー(12・8)
- ④ 第29回漢方研究会(12・15)
- 【予定・企画】
- ① 会員忘年会(12・29)
- ② 英語で診療 Medical English #35(1・18)
- ③ 奈良県「長龍」酒造 酒蔵見学会(2・24)
- ④ 健康と医療について語り合う会(3・8)
- ⑤ 支部お花見会(4・13)
- ⑥ 第29回在宅医療研究会(5・18)
- 【協会行事】
- ① 「休業保障制度」説明会(2・2)
- ② 地域医療を考える懇談会(協会地域医療部・北播支部共催)(2・23)

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

英語で診療 Medical English # 35

フランクな語学トレーニングの場

1月18日、西宮医療会館で「Cataract & Glaucoma ～白内障&緑内障～」をテーマに Medical English #35を開催。講師を Robert Conroy 氏、司会を坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)が務め、医師・薬剤師ら9人が参加した。アドバイザーとして参加した堀田能婦子先生(西宮市・堀田眼科)先生からの感想文を掲載する。

1月18日(金)の昼下がりに、第35回の会が開かれました。雪がちらつくとも寒い日でした。今回のテーマは、「白内障と緑内障」で、アドバイザーとして参加させていただきました。オフには海外へ出かけ、帰国の度に英会話の必要性を痛感して帰ってくるのですが、喉もと過ぎれば何とやらで、そのことをいつしか忘れてしまいます。



丁寧に発音指導する Conroy 氏



アドバイザーの堀田先生



英語で診療現場のロール・プレイングを行う Conroy 氏と参加者

そして日々の診療に追われたある日、机の端に新患の外国人のカルテが置かれているのを見て、どきつとしてしまいます。その方が、少し日本語がわかると安堵し、図を書きながら拙い英語で対応してしまいます。その時、流暢とはいかないまでも、患者さんの訴えを全て理解し、全て英語で説明してあげればどんなにか外国の方は安心することでしょう。わかっているがなかなかトレーニングできせん。今回も、実際に診療現場を再現した「ロール・プレイング」がありました。とつさにフレーズが浮かびません。「英語を読めても話せない!」これは日ごろどれだけ英語脳を使っていないかでしょう。そのことを痛感しました。そして恥じらいやためらいは不要と思えました。とつさのフレーズも、より英語らしい言い回しをと Conroy 先生や坂尾先生が訂正し、教えてくださいます。

この会は今も10年も続いているとお聞きしました。準備のために多大な時間とご苦労をなさっている両先生に感謝申し上げます。また他科の英語表現も学べるよい機会です。フランクなトレーニングの場だと思えます。諸先生方どうか奮ってご参加くださいますよう、最後によりしくお願ひします。

【西宮市・堀田眼科 堀田能婦子】

会員忘年会

支部活動を振り返り 新年への抱負を語り合う

2012年12月29日、「木曾路」西宮店で、広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)の司会のもと、毎年恒例の会員忘年会を開催。今回も Medical English の坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)、Robert Conroy 氏、新規開業医研究会の宮崎義彦先生(西宮市・みやざきレディースクリニック)、安岡眞奈美先生(西宮市・安岡クリニック)や、漢方研究会の長光由紀先生(伊丹市・ウイング調剤薬局)など、日ごろより支部企画の講師・司会でお世話になっている先生や新規開業の先生を含め、20人が参加した。

幸原久先生(芦屋市・幸原小児科・内科医院)からの乾杯の発声の後、参加者は料理を囲みながら支部活動などについて振り返るとともに、新しい年に向けての抱負も語り合い、交流を深めた。



幸原先生の発声で乾杯する参加者。一年間を振り返って交流を深めあった

西宮・芦屋支部 2月の文化企画

奈良県「長龍」酒造 酒蔵見学会

【日時】 2月24日(日) 13時45分集合(1時間程度)

【会場】 長龍酒造株式会社・広陵蔵

近鉄田原本線「箸尾」駅より徒歩約8分

※現地集合・現地解散となります

【定員】 15人(事前申込制・先着順)

【参加費】 無料(一部有料のお酒あり)



※お問い合わせは事務局 岡林、山田、伊藤 078-393-1803 / yamada-t@doc-net.or.jp まで